2026(令和8)年11月　第6号

赤れんが博物館NEWS

発行：舞鶴市立赤れんが博物館

小企画展「現代のれんが～カタチで楽しむれんが展～」を開催

会期　令和8年12月1日(火)～令和9年1月24日(日)

本企画展では、用途や技術の発展に伴い、多様な形状や装飾を持つようになった現代のれんが13点を当館の豊富なコレクションから厳選して展示します。

【展示内容】

- イギリスのバラ・ユリ紋章、ウサギの修復用装飾れんが
- ベトナム・フエの透かし装飾れんが
- 「エコ・京レンガ」I型、六角形星型
- 「ガーデン・ブリック」凸、凹
- 舞鶴市西消防署のれんが

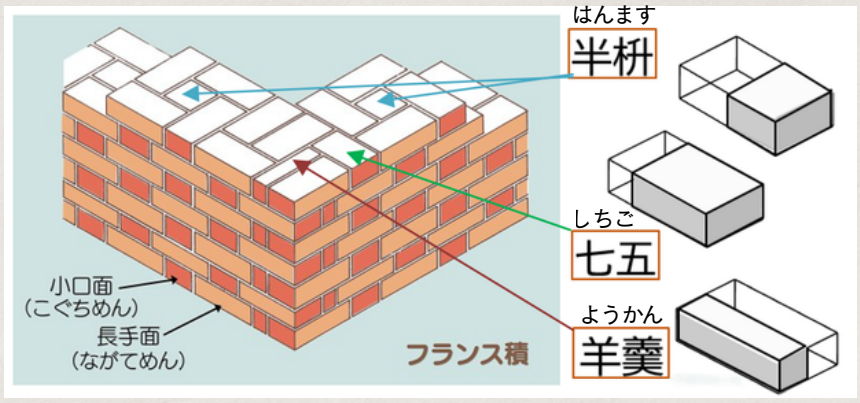
れんがが持つ造形の自由度と豊かなデザイン性をぜひお楽しみください。



知っているようで知らない？ れんがの積み方②

小さいサイズのれんがの使い方(1)

れんが造りの建物は、垂直の目地(つなぎ目)が揃うと強度が落ちるため、角に普通れんが(210×100×60mm)より小さなれんがを挟んで目地を意図的にずらします。



では、厚さ1枚半の「フランス積」の内部を見てみましょう。この角の部分には「半桝」「七五」「羊羹」が使われています。美しい壁の模様を作りつつ目地をずらすには、これら3種の小さいれんがが必要なのです。

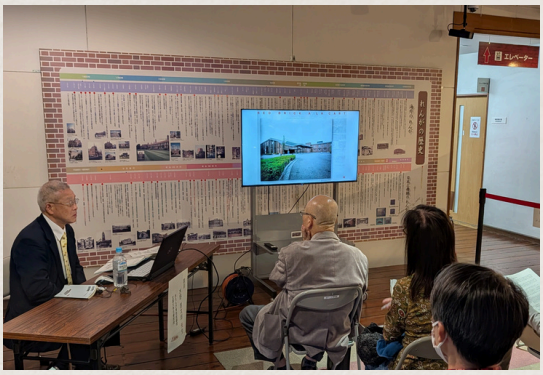
令和8年度第2回市民講座「日本の近代化とれんが⑨『繊維とれんが』」を開催

講師　水野 信太郎さん
赤れんが博物館 顧問/北翔大学名誉教授　工学博士

日時　令和8年10月31日(土)

赤れんが博物館の令和8年度第2回市民講座は、水野信太郎先生に 日本の近代化を牽引した繊維産業の歩みと代表的なれんが建物の関わりについてお話しいただきました。

1872(明治5)年建設の富岡製糸場に代表されるれんが造りの工場が次々と建てられました。堅牢なれんが建築の工場は近代機械生産の基盤となり、日本の産業革命を支えました。



◀市民講座でトヨタ産業技術記念館（旧豊田自動織布工場）について解説

●来年度の予定「日本の近代化とれんが」
（各日午後2時～）
⑩「軍事施設とれんが」令和9年5月22日(土)
⑪「麦酒とれんが」　令和9年10月30日(土)
ご参加をお待ちしています！

関西文化の日イベント「赤れんが博物館へ行こう！」を開催

日時　令和8年11月1日(日)　入場無料デー

関西各地の博物館・美術館で開催される「関西文化の日」事業の一環で、11月1日（日）は赤れんが博物館も入場無料デーを実施し、多くの来館者でにぎわいました。さらに、博物館前の広場では特別イベント「赤れんが博物館へ行こう！」を開催しました。「大きな紙製れんがで積み木遊び」や、「ダンボールれんがに絵を描こう」の催しを行い、天候にも恵まれ、ご家族連れに楽しんでいただきました。

▼「大きな紙製れんがで積み木遊び」





▲「ダンボールれんがに絵を描こう」

今月のれんが　11月

浅草 凌雲閣（りょううんかく）（「浅草十二階」）1890(明治23)年11月13日開業



◀「浅草 凌雲閣」のれんが展示

1890(明治23)年11月13日、浅草に12階建ての「凌雲閣」が開業しました。イギリス人バルトンが設計した八角形の塔で、日本初の電気エレベーターや売店、望遠鏡を備え、浅草の名物として人気を博しました。10階までがれんが造、11・12階が木造でしたが、1923(大正12)年の関東大震災によって8階以上が崩落し、同年に陸軍により爆破解体されました。

舞鶴市立赤れんが博物館　〒625-0036　京都府舞鶴市字浜2011番地　TEL 0773-66-1095
●年末年始の休館のご案内　2026(令和8)年12月29日(火)～2027(令和9)年1月3日(日)